

○中央・市街地地区_第1回地区会議の顛末 ～計画づくりの経過報告～

参加者：策定委員 11 人、職員 13 人

11 月 11 日（火）18 時 30 分から 20 時 35 分まで、複合施設はなのわにおいて、地区別計画策定に係る「中央・市街地地区 第 1 回地区会議」が開催され、地区の策定委員 11 人、役場職員 13 人（※事務局とオブザーバーを除く）が参加しました。

まず、事務局であるまちづくり推進課より、今回の地区会議の目的や地区別まちづくり計画の策定についての説明があり、ファシリテーター（進行役）から、地区会議の全体スケジュールについての説明があった後、4 つに分かれたグループで、地区の策定委員と役場職員が「どこから来たか？」、「最近あったちょっといいこと」など交えながら自己紹介を行いました。

その後、計画を振り返る意味で、これまでの地区の「目標」を印刷した模造紙をグループごとで確認しながら、それぞれの目標に対して

- ・目標が達成した（実現した） 青色
- ・取り組んでいるが目標は達成していない 黄色
- ・取り組みが進んでいない 赤色

というように、各取り組みにシールを貼り、黄色シールはもっとどうなったらいいと思うか？ 赤いシールはなぜ取り組みが進んでいないのか？ など、グループごとに意見交換しました。ほとんどのグループに共通していたところとして、「立地を生かした活力ある地区をつくる」という目標達成に向けて掲げていた、地域産業の振興、情報発信・PR の強化といった取り組みが進んでいないという結果になりました。

休憩を挟んで、事務局から、第 9 次総合計画の概要について、「まちを取り巻く潮流（時代の変化）」にスポットをあてて、説明がありました。

その後、各グループで、第 9 次総合計画と自分たちの地域の関連を考えながら、「この地域にも影響を与えそうな潮流は？」というテーマでディスカッションを行いました。どのグループにも共通した潮流として「人口減少・少子高齢化」が挙げられていました。

引き続き、「どの潮流（変化）が、この地域をより良くしてくれそうか？」という内容でも話を続け、最後に、今日対話した中で、この地域にとって大事だと思うことや対話を深めたほうがいいといった、重要だと思うキーワードを話し合い、「情報発信宣伝力、施設の活用、地域行事、コミュニティ活性化（町内会・公民館活動横のつながり）」などがキーワードとして挙げられました。

次回は、12 月 9 日（火）の 18 時 30 分から、同会場で開催することとなり、「私たちが 10 年後に目指す地域の姿」などを話し合う予定です。

